

インクルーシブの窓

令和7年8月 富山県教育委員会 教育みらい室 特別支援教育課



発達障害について書かれた外国語パンフレットを紹介します！



国際化の進展に伴い、学校では帰国児童生徒や外国人児童生徒に加え、両親のいずれかが外国籍であるなどのいわゆる外国につながる児童生徒の受け入れが多くなっています。（「小学校及び中学校学習指導要領解説」より）

ある小学校の通常の学級を訪問したとき、「ほら、見て！」と漢字の練習をがんばっている自主学習ノートを見せてくれたお子さんがいました。机の中から取り出したノートには整った字がたくさん書かれています。「すごいね！」と声をかけると、本人はもちろん、担任の先生やそばにいたスタディ・メイトさんもうれしそうな表情です。この学級では、子供が自律的に学習に取り組めるような支援が行われていることがうかがえました。

このように、外国につながる児童生徒を受け入れている学校では、一人一人の実態を的確に把握し、子供が自信や誇りをもって学校生活を送れるように配慮しておられます。一方で、子供の日本語の能力や学校での生活・学習の状況、保護者の方とのコミュニケーションの在り方に悩んでいるケースもあるようです。

国立障害者リハビリテーションセンターでは、子供の発達に心配なことがあるときに読むことができるパンフレットが発行されています。25か国もの言語版があります。

近年、日本で子育てをする外国人保護者の方が増えています。

- ・ 文化や生活習慣のちがう国で、子育てに必要な情報が得られにくい方
- ・ 言葉の壁から、子育てに必要な情報が得られにくい方
- ・ お子さんの発達について、心配している方

このパンフレットは、そういう外国人保護者の皆さんがすこしでも安心して子育てができるようにつくりました。

※『お子さんの発達について心配なことはありますか？～日本で子育てをする保護者の方へ～〔やさしいにほんご版〕』（国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報・支援センター、2019年）の「はじめに」より一部引用



パンフレット
紹介ページ

保護者向けだけでなく、小学生から高校生の子供と家族向けのものもあります。必要に応じて活用しましょう。

各学校で、教職員が協力しながら支援体制を構築し、共通理解の下にきめ細かな指導・保護者支援が行われることを願っています。